

鹿児島商工会議所
令和7年度 経営発達支援計画 外部有識者との意見交換会
開催報告

日 時	令和8年10月14日（水）15:00～16:00
場 所	鹿児島商工会議所 13 階会議室
出席者	今別府 忍 氏 （一社）鹿児島県中小企業診断士協会 会長 有馬 勝正 氏 （一社）鹿児島市商店街連盟 会長 國司 軒 氏 日本政策金融公庫鹿児島支店国民生活事業 事業統轄 田實 英己 氏 南九州税理士会鹿児島県連合会 中小企業対策部長 唐仁原 史之 氏 鹿児島市産業政策課 課長 谷 まり 氏 鹿児島県商工労働水産部 商工政策課 課長補佐 田中 敏郎 氏 かごしま産業支援センター 経営支援課長 事務局 5名
会議概要	事務局より経営発達支援計画の意見交換会の趣旨、鹿児島商工会議所の令和7年度の事業報告の概要について説明の上、経営発達支援計画の取り組みや成果について報告を行った。 その後、出席者より下記の意見、評価及び要望を頂いた。
意見・評価等	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度の実施目標値をほぼ達成しており、商工会議所が広範な業務を担う中で、計画目標を高水準で実施している点は評価できる。・支援先のうち経常利益率 1%以上増加を達成した企業の割合が約 48%であり、大きな成果であると感じる。・数字の管理だけでなく、現場を見て売上向上を的確にアドバイスできる専門人材の育成にも力を入れて頂きたい。・商工会議所が担うべき伴走支援の継続は今後必要である。幅広い分野で、今後も各関係機関と連携を図りながら、より丁寧な対応で相談件数の増加につなげて頂きたい。・次期計画（令和8年4月～令和13年3月）では、事業目標に KGI（重要目標達成指標）と KPI（重要業績評価指標）を記載したことで、取り組みの結果として目指すゴールが明確になり、計画の実効性が非常に高まったと評価する。